

大津緑洋高等学校の生徒のみなさんへ

今年は暖冬といわれたように暖かい冬でしたが、紅白の梅花や蠟梅（ロウバイ）の黄色も色鮮やかで、3月に入り春の気配を一段と感じられるようになってきました。

生徒のみなさん3月2日から一斉の臨時休業が始まり今日で18日目となりました。通常の年であれば今日は終業式や通知表などを渡し、3学期そしてこの学年の締めくくりとなる日でしたが、残念ながら、新型コロナウイルス感染症対策に伴い通常の学校活動ができない状況が続いています。おそらく生徒のみなさんもこれ程の長い期間を主に自宅で過ごし、学校にも登校せず部活動もない過ごし方をしたのは初めてであろうと思います。「今日何をしようか」と考える人も多いことと思います。みなさんが健康で元気であるのか、ネットを含めてトラブルに巻き込まれていないか、一日をどのように過ごしているかなど、私なりに気になっていいます。感染拡大防止措置のためみなさんに直接会って話をすることは控えていますが、担任の先生や部活動の先生から連絡などがありましたらみなさん方の様子を伝えたいと思います。

さて、振り返ってみると4月には1年生は緊張の中本校の校門をくぐり、2年生は高校生としてはじめて後輩を迎えました。5月、6月とクラスの中も士道に馴染み、部活動でも先輩後輩の関係もしっかりとできてきたのではないのでしょうか。1学期には大津校舎の運動会、日置校舎の二位の浜清掃活動、水産校舎の遠泳大会と天候に恵まれなかった部分もありましたが、どの校舎のみなさんも一生懸命に頑張っていました。2学期には文化祭、農高祭、すいこう祭をはじめとした多くの行事が続き、みなさんのパフォーマンスや活躍で学校が大いに活気づきました。12月には2年生は高校生活最大の行事ともいえる大津、日置は東京、水産は北海道への修学旅行がありました。非日常の体験の中でいろんなことを学び2年生として行く一生に一度の思い出づくりができたものと思います。

また、販売やスタッフとしてたくさんの地域行事に参加したみなさんの姿に、地域の方々からは多くの感謝の声をいただいていますし、ある女性の方から、「大津緑洋高校の生徒が荷物を持ってくれてホントに助かった。」とお礼の電話もあるなどお褒めの言葉をいただいています。やはりみなさんのそうした行動や姿が地域を支える一助になり、感謝されるみなさん方にとっても大きな満足感を得ることができます。

今は部活動もできず人の集まる場所にも行けず、充足感や満足感を得にくいようにも感じられますが、こうした時だからこそ、是非、家の手伝いにしっかりと「汗」を流してほしいと思います。朝、昼、晩の食事の後片付け、洗濯に掃除などやることはたくさんあります。また、普段なかなか話ができない家の人とも、少し照れくさいかもしれませんが話してみたいかでしょうか。

最後に一つ話をしたいと思います。

みなさんは「節操」という言葉を知っていると思います。「節操がない」というと、良い意味では使いませんが、実は節操には2つの意味があります。1つは節。季節の節という字ですが、季節が変わるように物事にも締めくくりが必要という意味です。今は各学年の終わりというまさに締めくくりの時期です。2つは、操。これは「継続は力なり」というように一

時的な行動ではなく、物事をやり始めたら継続しないといけない、という意味です。

つまり、こうした状況ですので、誰でもついダラダラと過ごしてしまい節目やスケジュールが曖昧になってしまいがちですが、今は学年の終わりという大きな節目です。この学年の終わりにあたって、反省すべき点は改め、良い点は伸ばすという、振り返りをしっかりしていただき、次の学年に向かっての第一歩としてください。そして「すでに次の学年は始まっているのだ」という高い意識をもって春休みを過ごして欲しいと思います。

終わりになりますが、保護者の皆様方には、お子様が自宅で過ごすこととなり、何かと御心配や御心痛も多いことと思います。今回の措置がいつまで続くかは分かりませんが、私達学校も保護者の皆様方と手を携えて生徒達を支えていきたいと考えております。お子様のことで何か気になること等がありましたら、御遠慮なく担任や関係の者に御相談ください。

1日も早く新型コロナウイルス感染症が収束（終息）に向かい、通常の学校活動が再開し、生徒の皆さん全員と再会できることを切に願っております。

令和2年3月19日

山口県立大津緑洋高等学校長 原田治幸